

富田林ロータリークラブ

- ◆会長：藤野正勝 ◆幹事：坂ノ上卓也 ◆会報委員長：大元 相
- ◆創立：1962年6月6日 ◆例会日：毎週木曜日12:30-13:30
- ◆例会場：富田林市民会館（富田林市栗ヶ池町2969-5）
- ◆事務局：富田林商工会館2階（富田林市栗ヶ池町2969-5）
 （月・火・木・金10時～16時）
- <Tel> 0721-26-0133 <Fax> 0721-26-0443
- <E-mail> kikusui@abeam.ocn.ne.jp
- <URL> <http://tondabayashi-rc.org/>



本日のプログラム

- ▶今週の歌：「TRCソング」
- ▶入会式：時任隼成君
- ▶卓話：クラブアッセンブリー

出席報告

例会日	会員数	出席者	MU	出席率
7/23	36(6)	21(3)	5	78.79%
7/16	36(6)	26(4)	1	79.41%
7/9	36(6)	21(2)	3	75.00%

()内は出席免除会員

今週の歌

TRCソング

塔(あららぎ)だ
 雲だ 豊旗(とよはた) 明る丘
 サアサ行きましょ 平和(たいらぎ)の
 太鼓をうちつつ
 RAN.RAN.RANと 楽しい楽しいT.R.C!

ビジター・ゲスト歓迎の歌

Welcome to our club meeting
 Welcome our many wonderful friends
 今日の一時 どうぞごゆっくり

今後の予定

- ▶8月6日(木) 3分間スピーチ大会：テーマ「2015-2016年度に望む事」
- ▶8月13日(木) お盆により休会
- ▶8月20日(木) 卓話
- ▶ 第2回理事会
- ▶8月27日(木) 例会場変更 ステーキレストラン千一夜 18時～（お昼例会なし）

2015年7月23日 第2595回 例会記録

★ゲスト卓話者

・道山本舗 堀川豊勝様

委員会報告

●親睦委員会・・・辰己泰啓君

7月23日(木)18時～グランドホテル二葉さんにて、「新旧会長幹事 慰労・激励会」を開催いたします。皆様ご参加よろしくお願いたします。

会長の時間・・・藤野正勝君

本日はゲスト卓話に堀川様にお越し願っております。どうぞよろしくお願いたします。

梅雨は明けましたが台風の影響か、雨の多い夏となっております。とても湿度の高い日が続いておりますので健康管理には十分お気をつけください。

クラブのフェイスブックにも掲載しましたが、昨日 名誉会員である富田林市長を幹事とともに表敬訪問して参りました。少子高齢化は日本全体の問題ですが、特にこの近隣市町村は毎年の人口減少に歯止めがかからず、各市町村は知恵を絞って何らかの対策を取っております。

富田林市では若い世帯を増やすために、いわゆる「婚活パーティー」を行うそうです。初回は「すばるホール」、その後サバーファームでのバーベキューや、寺内町散策などの企画を練っているとのことでした。市長によれば、昔ならどこの町内にも世話好きのおばちゃんが出て、結婚適齢期の男女を取り持つような事をしてくれていけれど、近所づきあいが希薄になった現在では残念がらなくなってしまうので、市が取り組んでみるとのことでした。問題は、婚活パーティーで結婚した男女が富田林市に居住してもらわなければならないということです。

ニコニコ

☺名誉会員 北野 勇様から多額のニコニコを頂きました。

☺藤野正勝君 堀川様、卓話ありがとうございました。

☺道田憲逸君 台中中州 RC にメーキャップに行ってきました。
林さんと3日間旅行してきました。

☺中禮博昭君 堀川様、卓話 大変勉強になりました。

☺壺井勘也君 バッジ忘れしました。

合計 54,000 円 累計 609,000 円

MAKE UP

★台中中州 RC (7月22日) 道田憲逸君

卓話・・・道山本舗 堀川豊勝様

本日の富田林ロータリークラブへの参席に付きまして誠に暖かい御もてなし、感謝申します。

又、手前の真に拙い説話を御辛抱してお聞き下さり感謝申します。

さて本日の説話を簡単に文章化との仰せに付き、下記にまとめました。

手前の研究課題は由緒ある南河内から由緒ある有益植物の蓼科の藍を如何に現代に有益となる形に発信していくかを課題に致しました。

葉に付いては染料しかないかと。只、藍の染料の希釈液がエイズウイルスに効果と特許も有りますが。では根に付いては国家が食品で認証しているが『ひげ根』だけに取り上げようがないかと。茎に関しては某研究機関との共同委託研究にて医薬に関し、特にインフルエンザウイルス特効薬として展開がみえて参りました。錠剤化が可能になれば世に非常な貢献出来るのではと。又、免疫改善、化粧品、健康食品、機能性表示食品の基本構成として十分な展開が期待できるところ迄データを取得出来ました。

この人類に取りまして有益な植物の栽培から研究・商品開発まで、南河内地区・富田林の先人達が取り組んできた蓼科・藍 *Polygonum tinctorium* をこの地で染料以外の機能の発見で起ち上げ、藍の種でもって地球規模でへき地医療・へき地教育に貢献していきたいと希望しております。

貴クラブは世界規模で貢献出来得るクラブではないかと考えておりました。

手前のノウハウはそれが十分可能ではと自負致しております。

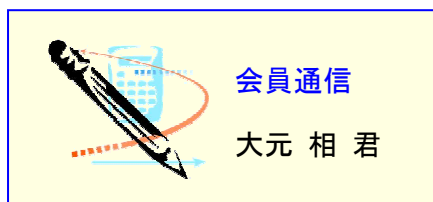
何卒、今住まいしております南河内・富田林から先人たちが培ってきた世の貢献の精神で蓼藍に興味を御持ち願えればと。



新旧会長幹事 慰労・激励会

- ・日時：2015年7月23日 18時～
- ・会場：グランドホテル二葉
- ・参加者：会員23名、ご家族3名、事務局





「坂の上の門」

何だか、題名だけを見れば「坂の上の雲」（司馬遼太郎）と「青春の門」（五木寛之）を組み合わせたようなものだが、全く大それた意味はない。ただ、坂を上ったところに学校があり、その門のことを述べている。

私が通っていた高校の名前は隣接する三つの国を眺める丘というところからきている。だから丘の上にあり、その丘に続く坂を3年間通った。長男が通う大学は駅の改札を出たところから始まる坂をずっと上がったところにある。長女が通う大学は大学構内に山があるくらいの学校でキャンパスを歩くとちょっとした山登りの感覚を味わえる。末っこの次男の通う高校は山の斜面を切り開いたような学校で、断崖絶壁に階段をつけたのではないかと思うぐらいの坂を上る。この坂を妻は次男と一緒に暑い日盛りの下休憩を入れながら登っていった。因みに次男が通う高校は長男の母校でもある。なので、長男は高校・大学の通学で相当に足腰を鍛えられた。（ありがたい）

楽しい夏休みだが、この夏休みに入る前にほとんどの学校では懇談会がある。これが何とも言えない学生にとっては嫌～なイベントである。高校に入って、つま先から頭のとっぺんまで体全体の色が変わるのではないかというぐらいに驚くのが、その学習のレベルの差である。幼児プールで泳いでいたのが突然に公式競技用のプールで泳がされるのではないか、と思われるぐらいに格段という言葉では言い表せないぐらいにレベルがあがる。なので、多くの生徒が勉強についていけない。恥ずかしい話だが私も欠点バリバリ。夏休みや冬休み、春休みの日にちではないのかと思うぐらいの数字の点数がいくつも。今思えば、高校生になった時は、上り始める坂のスタートにたどり着いたばかりで、坂の上の雲を目指し始め、同時に社会的な存在と責任を感じる門の前に立った時期だった。

この懇談会に次男が向かった。結果は惨敗。新入幕が横綱に挑むようなもの、中学生がイチローに臨むようなもの。中学生と高校生のレベルの差に打ちひしがれたようであった。担任の先生に言われた叱咤の言葉に、何とか負けん気を奮い立たせる若さがあったのが救いである。次男の肩を小さくする姿を見て、こちらは笑いをこらえるのに必死である。彼もこれから坂をのぼりはじめ雲をつかむような助走をし始め、大きな門の前に立ち、厚く重い扉を開き始める。

こんな親の感傷めいた気分を一蹴し、二男は「待っていました」とばかりに日本の三大祭の天神祭へと友達と一緒に出かけた。テストの点数は野球の打者の打率のようだが・・・

夏休みはこれから本番へと入っていく。雲は高く白く、門は厚く重く。次男の在り様はまだまだ私を楽しませてくれそうだ。